



大川市の「脱炭素社会」（地球温暖化対策）の取り組みとインテリア産業の振興について  
馬淵 清博 議員

**問** 本市は木工業、家具のまちであり、他自治体以上に地球温暖化対策に積極的に取り組むべきでは。

**答** 本市では、平成18年に第1次大川市地球温暖化対策実行計画を策定し、現在は令和3年2月策定の第4次計画に基づき、温室効果ガスの削減目標の達成に向け、全庁的に取組を推進しています。

温室効果ガスの削減には、森林環境が重要な役割を果たしており、森林の荒廃を防ぎ、樹木の健全な成長のためには適度な伐採が必要です。このため、本市では地域の森林から産出された木材を購入し、製材、加工、家具製造、納品までワンストップで提供できる「ふるさと家具」事業や植樹後、短い期間で伐採が可能となる早生広葉樹センダンの活用など、循環型サイクルの構築を支援しています。

また、令和2年に那珂川市と地域木材活用等に関する連携協定を締結し、同市での植林に参加するなど、連携と協働に努めています。

**問** 森林環境譲与税を活用した今後の取り組みは。

**答** 本市の公共施設等に国産材、地域材を使用した木製品等の導入や、県内の自治体にふるさと家具を活用していただくためのPR事業などに有効活用していきたいと考えています。

**問** 古材の再利用によるインテリア産業振興については。

**答** 樹齢がいくと二酸化炭素の吸収量は落ちるため、一定の樹齢の木は伐採し、若木を植林して循環させることが、温室効果ガスの抑制には効果があります。古材は、木質バイオマスなどの燃料として、油の使用を抑制できれば、地球温暖化防止にもつながるのではないかと思います。



エツ漁の解禁期間の変更について  
内藤 栄治 議員

**問** エツは本市にとってどのような観光資源か。

**答** 毎年エツのシーズンには多くの観光客をお迎えしており、他の観光施設の回遊などの波及効果も含め、重要な観光資源の一つです。

**問** 温暖化の影響が、エツの遡上時期が早まっているようだ。解禁日を早めて、漁期を4月10日又は15日から6月30日までにしては。

**答** エツの漁期は、5月1日から7月20日までです。エツの漁獲量の減少に伴い、産卵期間を確保するため、資源保護の観点から、多くの協議を重ね、平成7年に7月31日までだった漁期を20日までと変更されました。河川の漁期は、毎年、福岡県内水面漁場管理委員会です許可方針が確認され、福岡県で決定されています。漁期の変更は、漁業関係者から要請された際に、変更の必要性や科学的データ

を基に審議、決定されます。また、筑後川のエツは、福岡・佐賀両県に接しているため、両県内水面合同漁場管理委員会にも諮る必要があります。まずは現状確認のため、漁業者から話を伺うとともに、福岡県の有明海研究所に確認します。

**問** エツ漁の漁師数は。

**答** 許可を持っている方は90名、実際に取っている方は59名です。

**問** エツの漁獲量は。

**答** 元年度9・5トン、2年度6トン、3年度7・4トンです。

**問** 漁獲量は現状ではそんなに多くないのでは。エツの更なる減少対策のためにも、現状把握をもっと真剣に行うべきでは。

**答** 科学的なデータをとれる機関、専門家の研究、調査等で判断しなければならぬと思っています。本市としてもエツを未来に向かつて守っていききたいと思っています。



マイナンバーカードの推進について  
宮崎 稔子 議員

**問** カードを作る必要性とメリットは。

**答** 新型コロナウイルス対応などを通じて、デジタル化の遅れが社会の課題であることが明らかになり、今後、人口減少と高齢化が一層進んでいく中で、安心、便利で豊かなデジタル社会を構築するために必要なものであると考えます。

メリットは、本人確認の際に公的な身分証明書になること、確定申告などの各種行政手続のオンライン申請ができること、健康保険証として利用できること、コンビニなどで行政上の各種証明書を取得できることなどです。

**問** 市役所へ来庁される方でも、カードを持参されるとよい点はあるのか。

**答** 10月から申請書作成支援システムを導入予定で、マイナンバーカード等をかざして幾つかの数字

を入力するだけで、住所、氏名などが印刷された申請書が出来上がり、申請書に書きする手間が減ります。

また、住民票の写しなど、1通200円の手数料を、来年1月から300円に改定しますが、コンビニ交付やオンライン申請の場合は、1通200円に据え置きます。

**問** カードのセキュリティは。

**答** 顔写真入りのために悪用は困難なほか、ICチップは、情報を利用するには暗証番号が必要で、不正に情報を読み出そうとすると壊れる仕組みです。なお、税や年金などのプライバシー性の高い情報は入っていません。

**問** カード取得に地域振興券の発行などの考えは。

**答** 今のところ、ポイントなどに頼らない普及策を考えていかなければならないと思っています。



今こそ平和学習の充実を！  
(21世紀に対する警鐘が聴こえる)  
川野 栄美子 議員

**問** 小中学校の平和学習の内容は。

**答** 小学校では、社会や国語の教科のほか、夏休みの出校日に平和学習を行い、修学旅行では長崎を訪れ、実際に被爆された方から被爆体験を聞く機会も設けています。

中学校では、小学校の学びを発展した内容で、全教育活動を通して学習し、夏休みに全校集会形式で平和を祈念する式を実施し、生徒一人ひとりが平和について考えを深める機会としています。

**問** 平和学習での要を3つあげると、教育長のご所見は。

**答** 「命」命を守ること、「信頼」自分と周りの人との信頼、人間関係、「心」豊かな心です。

**問** 小中学校の平和学習は、今の学習で満足な内容か。

**答** 今の平和学習でよいと思っています。

**問** 平和学習において、大切なこと

とは。

**答** 大人に対しての平和学習では、忘れてはいけない過去の歴史から学び、子供たちに伝えていくことが、大人の使命であると考えます。

**問** 行政の取り組みは。

**答** 戦時資料パネル展、戦没者追悼式の実施やウクライナ人道危機救援金の募金箱を設置しています。

**問** 本市に戦争体験集はあるのか。

**答** 本市でまとめたものはありません。大川市在住、出身の方が戦争体験等を書かれたり、まとめられた書籍は市立図書館にあります。

**問** 市長に平和学習を推進する心構えや考えを伺う。

**答** 市民の心がポジティブな状態にある時間を増やすことが仕事だと思っています。まず自分自身が、虚栄心といった気持ちをなくすことが、大川市の平和、世界の平和につながっていくと思っています。